

永山小「確かな学力」育成プラン

平成30年2月～平成31年3月

旭川市立永山小学校

■教育基本法の理念

- 知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間
- 公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民
- 我が国の伝統と文化を基盤として、国際社会を生きる日本人の育成を目指します

■北海道教育の基本理念

- I 社会で生きる実践的な力の育成
- II 豊かな心と健やかな体の育成
- III 信頼される学校づくりの推進
- IV 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進
- V 北海道らしい生涯学習社会の実現

本校の教育目標

心豊かな子をめざして

- 考える子(知)
- 助け合う子(徳)
- 元気な子(体)

《合い言葉》

風の子のように
きらきら いきいき



発表したり話し合ったりするのが楽しい

■上川管内教育推進の重点

「確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのとれた育成」「学校、家庭、地域の連携による上川らしい教育の推進」

- I 1.確かな学力を育む教育の推進 2.インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育の推進 3.新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進
- II 1.豊かな人間性と感性を育む教育の推進 2.心身の健やかな成長を促す教育の推進
- III 1.教職員に対する信頼性の向上 2.魅力ある学校づくりの推進
- IV 1.家庭教育力の向上 2.地域教育力の向上
- V 1.生涯各期における学習活動の推進 2.社会教育推進のための基盤整備 3.芸術文化活動の推進

■旭川市「学校教育指導の方針」

- 1.児童生徒の成長を実感し、保護者・市民に信頼される学校経営 2.一人一人に着実に「生きる力」育む教育課程
- 3.主体的に学ぶ態度を育てる学習指導 4.全教育活動を通じ、豊かな心を育む道徳教育
- 5.自ら学び考える力を育てる総合的な学習の時間 6.主体的な活動を通じ、望ましい人間関係をつくる特別活動
- 7.思いやりの心や自己をよりよく導く力を育てる生徒指導 8.生命を尊び、自ら心身を鍛える健康・安全教育
- 9.一人一人の教育的ニーズに応じ自立を目指す特別支援教育 10.教職員の資質能力と学校力を高める研修活動

自ら学ぶ態度・学習習慣を身に付けさせるために

- ①児童の思い・願いを取り入れる授業評価の工夫
- ②家庭と学校が連携し、自ら進んで学習に取り組む環境づくりに努め、学習習慣の定着を図る
- ③「子ども育成プラン」に基づく家庭と学校との共同歩調
- ④図書資料の充実、情報・メディアを活用する学び方の実践
- ⑤ボランティアの充実(体験的学習)
- ⑥放課後学習の実施

知識・技能の確実な定着のために

- ①学力の基盤となる言語活動の充実、言語環境の整備
- ②学習規律、話し方・聞き方などの学び方の定着
- ③少人数指導や習熟度別学習など個に応じた指導の充実
- ④複数の教員・講師による指導

育てたい力

- 学習意欲 主体的に学習に取り組もうとする態度
- 思考力・判断力・表現力 学んだことを活用しつつ、論理的に考察し、自分の考えを適切かつ豊かに表現する力
- 知識・技能 漢字や四則計算などが確実にできる力

⑤朝の「きらきら学習」タイムを活用した繰り返し学習による基礎的・基本的事項の定着

知識・技能を活用する力を育成するために

- ①問題解決的な学習の重視
- ②自分の思いや考えを豊かに表現し、根拠を明確にしながら筋道を立てて考える授業の推進
- ③身に付けた言語力を発揮する場面の設定(聞く側を意識した発表の工夫の充実)
- ④地域の「人・もの・自然」と触れ合う体験的な学習・身に付けた知識・技能を学習や生活の中で総合的に働かせる

指導力の向上を図る研修

- ①思考力・判断力を高め、豊かに表現する力の醸成・育成
- ②研究部及びブロックを中心とした校内研究会の実施
- ③研修の充実(主体的・対話的で深い学びの実践、道徳科の準備・実践、外国語及び外国語活動の実践・充実)
- ④学年研修会の充実(毎週)



家でめあてをもって勉強する習慣が身に付く

わかる授業になるように工夫しています



本校児童の実態

子どもたちの学習の様子は...

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果(6年)より

	問題 A (主として知識)	問題 B (主として活用)
国語	「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に成果が見られたが、「書くこと」特に「話すこと・聞くこと」は大きく課題が残った。	どの領域も成果が見られた。「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の順に成果が見られた。
算数	「量と測定」「数量計算」「数と計算」「図形」の順で、全国平均より4~9 Pほど、全道平均より2~6 Pほど低く、課題が残った。	「数と計算」「図形」「数量計算」「量と測定」の順で、全国平均より2~13 Pほど、全道平均より1~7 Pほど低く、課題が残った。
質問紙	高い傾向を示したもの ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意。 ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。 ・人の役に立つ人間になりたいと思う。	低い傾向を示したもの ・1日当たりのテレビ、ビデオ、テレビゲーム、DVD、携帯、スマホでの通話やメール、ネットの時間。 ・携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 ・家で、学校の宿題をしている。 ・読書が好き。

平成29年度教研式学力調査の結果(抽出5年生)

国語	話すこと・聞くこと<目的に応じて話すこと>、伝統的な言語文化と国語の特質<漢字の読み書き>について重点的に取り組む必要がある。
算数	数と計算<がい数と四捨五入><わり算><小数の仕組みとその計算><分数とその計算>、量と測定<角>、図形<いろいろな図形、平行・垂直>、数量関係<公式などのいろいろな式>について重点的に取り組む必要がある。